

第3学年3組 おおとりの時間学習指導案

平成26年6月14日(土)
 授業者 塩盛 秀雄
 授業会場 3-1教室

1 単元名 別所沼へ行こう

2 単元の目標

自分なりの思いをもって別所沼について調べ、発見したことをまとめながら、別所沼と自分との関わりや人々との関わりについて考えようとする。

3 単元について

(1) 単元設定の理由

初めておおとりの時間を行う第3学年では、野外造形会や生活科の虫探しで行っていた別所沼公園を学習対象として設定した。今まで自分中心で見てきた別所沼公園を、自然や歴史、利用している人という様々な見方で見直していくことにより、自分と別所沼公園との関わりを、再発見できるようにしていく。また、自分の思いをもって一つのことを追究していく態度や問題解決の力の素地を育てる上でも、多くの視点から迫れる別所沼公園は学習の対象として適しているといえる。さらに、別所沼公園に関わる人との交流を通して、人と人とのつながり、人と物とのつながりに目を向け、自分自身と他者、自分と別所沼、他者と別所沼との関わりを振り返り、自分の生き方を考えるよい内容であると考え本単元を設定した。

(2) 展開にあたって

単元の展開にあたっては、別所沼公園に出かけ、改めて別所沼公園にある物や人を再発見していく。その中で別所沼公園をつくった人や管理している人に出会い、その人達の別所沼への思いを調査していく。その調査したことを基に、今まで自分たちが思っていた別所沼公園と、つくった人や管理している人が思う別所沼公園との共通点や相異点を比べ、「自分たちの別所沼に対する思い」をつくっていく。また、色々な人達の考えを知ることで、自分たちと別所沼との関わりを見直していく。その際、単にインタビューをしてまとめる、写真を撮って発表するといった単調な調べ学習に終始せず、ものづくりや情報発信を積極的に取り入れ、体験活動を重視した展開を行っていく。このような活動を行う中で、課題の見付け方や探究の仕方など、基本的な学び方を身に付け、友達や学習対象等との関わりを意識したり、自分自身の生き方を見直したりできるような態度を養い、生活の中での問題解決能力が高まるようにしたい。

4 観点別評価規準

ア 問題解決能力	イ コミュニケーションの力	ウ 自己を見つめ、自己を高めていく力
①別所沼について関心を持ち、別所沼公園の様子や利用している人から課題を見いだしている。 ②自分の課題について、繰り返し関わりながら、問題解決に取り組んでいる。 ③別所沼についての見方や考え方を見直し、自分の生活に生かそうと考えている。	①別所沼で見つけた人や物、ことに繰り返し関わりながら知りたいことを自分なりに調査している。 ②課題解決に向けて、お互いの考えを話し合い、よりよい結論を導いている。 ③別所沼に対する自分の考えや調べた情報を友達や利用している人に伝えている。	①友達と協力して調査したり、表現したりしながら、互いのよさを認めると共に、自分らしさを意識した活動を行っている。


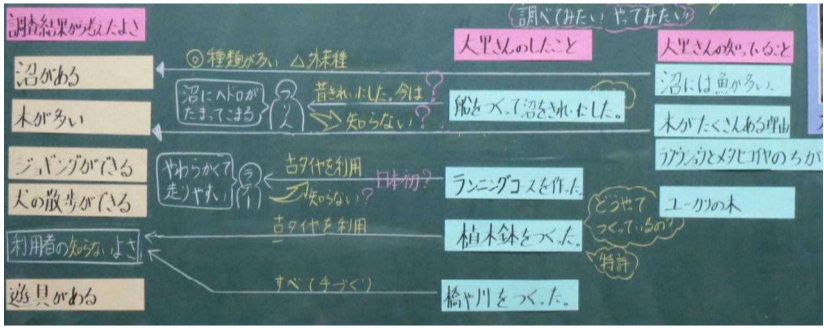
5 単元の指導計画・評価計画 (50時間扱い)

- ◎学習対象：
 ・別所沼公園の動植物や利用する人々、働く人々
- 学習事項：
 ・身近な自然の存在とよさ ・公園を利用する人々や働く人々の思いや願い
 ・公園内の動植物、利用する人々や働く人々の現状

- ◎これまでの学習との関連
 ・1年生の生活科(学校探検)
 ・2年生の生活科(町探検)

時数	学習活動・予想される児童の意識や姿	○指導上の留意点	評価規準 【評価方法】
1 2	別所沼公園について知ろう ・(1) 別所沼公園に行き、どのような物があるか、どのような人がいるかを調べる。 ・ランニングコースがあった ・池があって、釣りをしている人がいた ・どれも見たことがあるよ。 ・知らないことがまだありそうだ。	○児童にとって初めてのおおとりの時間となるため、1回目の課題解決は学級共通の課題とする。 ○ランニングコース、別所沼会館、管理事務所、植木鉢など課題設定に必要なものを意図的に見学できるようにする。 ○話し合いで使えるように、あったものの写真を撮りながら調査をする。	【発言・行動観察】 ア ①・イ ①
3 4	・(2) 別所沼公園にあった物やいた人について話し合い整理する。 ・ランニングをしている人がいたよ。 ・植木鉢があったけど、初めて見たよ。 ・正門前にある物と同じだね。	○あったものを話し合い整理するときには、「知っていたもの」「初めて見たもの」という視点で整理していくことで、古タイヤの植木鉢に着目できるようにする。 ○別所沼のものと学校の正門のものとを関連づけることで、「どうして学校にあるのだろう」という問題意識を持てるようにする。	
5 6	・(3) 植木鉢について、4年生に話を聞きに行き、大里さんに話を聞く計画を立てる。 ・別所沼で働く大里さんに教えてもらったらいい。 ・大里さんの話を聞いてみたいな。 ・植木鉢をどうやってつくったのかな。 ・別所沼の秘密を伝えて欲しいな。	○4年生に話を聞くときは、「大里さん」「別所沼を作った人」「いろいろな秘密を知っている」程度の内容に留めることで、大里さんの話を聞きたいという思いをもてるようにする。 ○大里さんの話を聞く前に、自分たちが別所沼について知っていることを整理しておくことで、興味をもって聞くことができるようにする。 ○大里さんは火、水曜日に別所沼で働いている。一回目の交流では、教師が事前に約束をする。その後は、児童に連絡させてもよい。	【学習記録】 イ ②
7 8 9	・(4) 大里さんに話を聞く。 ・(5) 大里さんから聞いたことについて話し合い、整理する。 ・日本初のランニングコースを造ったらいい。 ・別所沼を掃除する船を造ったらいい。 ・トンボ池もつくったそうだよ。 ・植木鉢は古タイヤを利用しているんだね。 ・大里さんはいろいろやっただね。 ・大里さんってすごい。	○大里さんに話していただく内容を事前に伝えておく。 (整理した板書)	
10	・(6) 大里さんの話から学級の課題を決める。 ・今の4年生みたいに植木鉢をつくってみたい。 ・船を見に行きたい。 ・池をきれいにしてみたい。	○児童は「課題」と聞くと「何かを調べること」と考えることが多い。そのため、「調べたい」だけでなく「つくってみたい」「やってみたい」という視点で教師が投げかけたり、整理したりすることで、児童の持っている「課題」に対する意識を広げることができるようにする。	
11 12	古タイヤの植木鉢をつくろう ・(1) 大里さんに植木鉢の作り方を教えていただくお願いにいき、つくる計画を立てる。	○植木鉢を作る計画を立てる際は、大里さんだけでなく4年生に相談に行くなど、いろいろなところから情報を集める方法もある。 ○タイヤの準備には保護者の協力が必要になる。授業参観などを使い、おおと	【学習記録】 記 録 【発言】



	<ul style="list-style-type: none"> ・12インチの古タイヤが必要らしいよ。 ・ペンキも必要だって。 ・タイヤが手に入るか、おうちの人に聞いてみよう。 	<p>りの時間の内容を保護者に理解して協力してもらおうとよい。</p> <p>○タイヤの準備には時間がかかる。植木鉢の作成までに植える植物や管理の方法などを話し合うなど、適宜調整してすすめる。</p>	ア② ・学習
13 14	<p>(2) 植える植物、色、設置場所について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくった後、何を植えようか。 ・色は何色がいいかな。 <p>・6月くらいに植えて9月に花がさく植物ってなんだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会や研究協議会の時咲かせたい。 <p>(3) 植えられそうな植物を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花屋さんに聞いてみたらいい。 ・図鑑で調べよう。 	<p>○植木鉢を作るとき、作った後の管理まで考えさせ、何について決めておかなければいけないか、その項目から話し合うようにする。</p> <p>○色や設置場所、植える植物などを決める際も、自分たちだけでなく、花屋など専門家の意見を聞いたり、学年や学校の友達の見解などをしらべたりするなど 様々な調査方法の経験を積ませるようにしたい。</p> <p>○ジャッキやペンキなどを使うため、安全面に配慮する。</p> <p>○お礼の言葉など、児童が主体的に進めることができるよう事前指導しておく。</p> <p>○</p>	ア② ・イ① 【発言・学習記録・行動観察】
15 16	<p>(4) 植木鉢をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイヤをひっくり返すのに、ずいぶん力がいるね。 ・ペンキ塗りを初めてしたよ。 ・この道具も大里さんがつくったなんてすごい 		
17	<p>花を植えよう</p> <p>(1) 土入れ、タネまき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花がさくのが楽しみだな。 	<p>○生き物を扱うため、継続して植木鉢に関わっていく必要がある。これからずっと関わることができるよう、管理の仕方、約束事をきちんと決めておく。</p> <p>○夏休みの管理については、水泳に参加した児童が水やりを行うようにし、できる限り、児童の手で管理できるようにする。</p>	録 ア① 【学習記】
18 19 20 21	<p>植木鉢の報告をしよう</p> <p>(1) 大里さんに植木鉢がどうなったか報告とお礼の計画を立て、準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植木鉢にどんな花が咲いたか伝えたい。 ・勉強したことを伝えたい。 ・お手紙や文集をつくろう。 <p>(2) 大里さんに植木鉢のお礼に行く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなに花が咲きました。 ・学校の正門に飾っています。 <p>(3) お家の人に報告をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイヤを準備するのに手伝ってもらったから報告しよう。 ・植木鉢が別所沼にあることを知らなかったよ。 	<p>○大里さんへのお礼というと、手紙や色紙などに偏る。植木鉢や自分たちの学習の報告という形にすることで、文集、新聞、発表など様々な発信方法が出てくるようにする。</p> <p>○表面的なお礼ではなく、児童の考えや思いが分かる表現方法や文面になるようにする。</p> <p>○この報告を通して、学習のまとめとして内容や自己の成長を表現し伝える活動を経験することで、本単元でのまとめの活動に生かせるようにしていく。</p> <p>○お礼の言葉など、児童が主体的に進めるとができるよう事前指導しておく</p>	ア③ ・イ③ 【学習記録・行動観察】
22 23	<p>別所沼を利用している人に別所沼のことを聞いてみよう</p> <p>(1) 別所沼を使っている人に、自分たちが知っている秘密について聞いてみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランニングコースも植木鉢もどうやってできたか知らないよ。 ・別所沼の木についても知らなかった。 <p>(2) お家の人に、自分たちが知っている秘密について聞いてみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族のみんなも別所沼について知らなかったよ。 ・秘密をみんなに知らせたいな。 		ア① ・イ② 【発言・学習記録】
24 25 26 27	<p>別所沼公園を利用している人に別所沼の秘密を知らせよう</p> <p>(1) 別所沼公園を利用していた人たちの話を整理して、学級の課題をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すごい物がたくさんあるのにみんな知らない。 ・僕たちがつくった植木鉢も見てもらいたい。 ・ランニングコースが日本初であることを伝えたい。 <p>(2) 大里さんの話をもう一度聞きに行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大里さんにもう一度話を聞いて、ほかにも秘密がないか調べよう。 ・自分たちの知っている秘密についてももっと詳しく知りたいな。 	<p>○ここでは、調査活動に時間をとるのではなく、自分たちの知っている別所沼と利用している人たちが知っている別所沼とのギャップに気付くことができるよう数名に聞くようにする。</p> <p>○話し合いの際は、〈板書例〉のように、自分たちが大里さんから聞いたことと利用者の人が話していたことを対比させていくことで、「もっと別所沼のことを伝えたい」という思いをもてるようにする。</p> <p>○利用している人へのインタビューや大里さんへの質問は事前に学級内で話し合い、絞っておくことで、共通の内容で話し合いを行えるようにする。</p> <p>○ここからは学級の課題として「別所沼公園を利用している人に別所沼の秘密を知らせよう」があり、個人の課題として「ランニングコースの秘密」「植木鉢の宣伝」など複数のグループに分かれて取り組んでいく方法もある。</p>	ア② ・イ① 【発言・学習記録・行動観察】
28 29	<p>(3) 利用している人に伝えたい別所沼の秘密ランキングを決め、発信する情報を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちがつくった植木鉢は紹介したい。 ・ランニングコースの秘密は伝えたい。 ・メタセコイヤとラグウショウが多い理由は、驚くと思うな。 	<p>○伝えたい内容が多いと各グループの内容を教師が把握できなくなる。ランキングにすることで、伝える内容を絞るとともに学級全体で共通理解を図ることができるようにする。</p>	
30 31 32 33	<p>(4) 別所沼公園を利用している人にどのように伝えたらよいか方法を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別所沼を利用する人が見やすいように看板を立てる ・管理事務所や別所沼会館にパンフレットを置きたい <p>(5) 別所沼会館や管理事務所に依頼に行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちがつくったパンフレットや壁新聞を掲示させて欲しい。 	<p>○これまでの生活経験から、どんな方法で情報発信がされてきたかを振り返るようにする。例) 社会科の学習との関連を図る。</p> <p>○事前に管理事務所や別所沼会館に連絡を取り、許可を得ておく</p>	ア② ・イ③ 【発言・行動観察】
34 35	<p>(6) 新聞やパンフレットの作成をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大里さんを紹介したい。 ・写真を撮る必要がある。もう一度別所沼に行こう。 ・パンフレットはどれくらい必要な。1日に別所沼会館に来る人の人数を聞いておきたい。 ・ランニングコースを利用している人のインタビューも載せたい。もう一度調査する必要があるね。 	<p>○表現方法は国語や社会科などで学習したことを生かし、他教科との関連を図るようにする。</p> <p>○誰に対して、どのような方法で、どんなことを発信するのかを明確にし、グループごとにつくるのか、個人でつくるのか、大きさはどれくらいにするのかなど、具体的な発信方法について話し合う時間を確保することで、児童が目的意識を持って取り組めるようにする。</p>	ア② ・イ③ 【発言・学習記】

<p>36 (7)作成した新聞やパンフレットをお家の人に見せてもらった意見から、改善点を話し合う</p> <p>37 ・お家の人が見ていなかった秘密を中心に選ぼう。</p> <p>・地図を使うとどこにあるか分かりやすいって。</p> <p>38 (8)別所沼会館や管理事務所に置かせてもらう新聞やパンフレットの作成をする。</p> <p>・別所沼公園を利用する小さい子とそのお母さんに読んで欲しいから、絵を多くしよう。</p> <p>・ランニングコースを利用している人に見てもらいたいから、「日本初」の情報は外せないね。</p>	<p>○保護者に見てもらい、アドバイスをもらえるようにPTAや授業参観でお願いしておく</p> <p>○色々な表現ができるよう、別所沼公園の写真や別所沼公園の白地図など数種類の用紙を用意しておく。</p>		
<p>39 (9)新聞やパンフレットを別所沼会館や管理事務所に置きに行き、利用者に情報を発信する。</p> <p>・パンフレットを渡して読んでもらおう。</p> <p>・別所沼会館の館長さんをお願いに行こう。</p>	<p>○単に壁新聞を掲示したり、パンフレットを置いたりするだけでなく、利用者や直接話すことで、自分たちの活動を価値付けたり、達成感を味わったりできるようにする。</p>		
<p>40 植木鉢リース大作戦</p> <p>・ (1)これから植木鉢をどうしていくか話し合う。</p> <p>41 ・別所沼に飾って、見てもらいたい。</p> <p>・附属幼稚園で園児のみんなに見てもらいたい。</p> <p>42 (2)植木鉢を飾ってくれる場所について話し合い、計画を立ててお願いに行く。</p> <p>・附属幼稚園なら飾ってくれるかもしれない。でも花の手入れは小学生じゃないとできない。</p> <p>43 ・浦和警察も花があると、明るくなんじゃないかな。</p> <p>44 ・植物を植え替えたりする仕事は、自分たちが行って行うようにしましょう。</p>	<p>○ここからは継続した管理を考える必要がある。半年後、1年後のことを話し、このままでは場所が確保できなかったり、管理が難しいことを伝え、課題意識を持つことができるようにする。</p> <p>○お願いに行く場所は、事前に教師から連絡を入れ、許可を取っておくとよい</p> <p>○日頃からお世話になっているお店や施設などについて話し合い、なぜそのお店なのか、その施設なのか、明確な理由をもってお願いにいけるようにする</p> <p>○定期的に花の手入れを行い、計画的に植木鉢に関わるようにする。</p>		ア ② ③
<p>45 (3)植木鉢を運び、手入れをする。</p> <p>・ 4月に向けて植物の苗を植えよう。</p> <p>46 ・地域の人が見てくれるように、看板を立てよう。</p>			
<p>47 単元のまとめ</p> <p>・ (1)この学習を通して、学んだことについて話し合う。</p> <p>48 ・別所沼公園がもっと好きになった。</p> <p>・植木鉢づくりやパンフレットづくりなど、初めてやったことが多かった。</p> <p>49 ・大里さんがすごかった。</p> <p>50 ・植木鉢を色々な人に見てもらいたい。</p>	<p>○単元のまとめとなる。これまでの活動を振り返る時間を設けた上で、考えや思いを表現する活動を行う。</p> <p>○まとめ方は、新聞、作文、手紙など様々な方法が考えられる。また、考えの共有も話し合い、発表会、ポスターセッションなど多様である。国語など他教科で学んだことを活用してもよい。</p>		録 イ ③ ウ ③

6 本時の展開 (14/50時)

- 目標
大里さんと作った植木鉢の設置場所を話し合い、目的に合わせた植木鉢案を考えることができる。
- 本時までの取組
別所沼公園をつくった大里さんとの出会いから、大里さんが作った古タイヤによる植木鉢に興味をもった。そして、自分たちでもタイヤを集めて、教えてもらいながら植木鉢を作った。
- 展開

学習活動・児童の意識	指導上の留意点 (○) 評価 (評) 支援の工夫 (→)	時間
1 前時の活動を振り返る。	○前時で作った植木鉢を見せることで、植木鉢作りに取り組んだことを想起できるようにする。	2'
2 本時の課題を確認する。	○植木鉢の色や植えるもの、設置場所を決めることを確認する。	3'
自分たちで作った植木鉢の色や植えるもの、設置場所を決めよう。		
3 植木鉢を設置する場所を話し合う。 ・学校に設置した方がよいと思います。せっかく自分たちで作ったのだから、身近にある方がよいからです。 ・別所沼に置いたらよいと思います。たくさんの方が利用しているし、休日も様子を見に行けるからです。	○一人一人が、色や植えるもの、設置場所やその理由を植木鉢案として考えることができるようにワークシートを用意する。 ○設置場所によって、設置する目的が違うことに着目させ、色や植えるもの考える前に、設置場所を考える必要があることを確認する。 ○出された意見について、賛成や付け足し、反対や質問をするようにして、全員が参加できるようにする。 ○設置場所を決めるために、自分たちがなぜ植木鉢を作ることになったのか、どのように活用していきたいのかということを中心に話し合うよう言葉がけをし、クラス全体で設置したい場所を決めるようにする。	25'
4 植木鉢案をグループで作成する。 ・自分たちが作ったというのが分かるように、クラスカラーの黄色か白にした方がよいと思うよ。 ・これから植えても育つ植物はなんだろう。ひまわりとかは大丈夫かな。	○設置場所に合わせた色や植えるものについて各グループで意見を出し合えるように、ワークシートを配付する。 評 大里さんと作った植木鉢の設置場所を話し合い、目的に合わせた植木鉢案を考えている。 →設置場所の雰囲気や自分たちの思いを関係付け、植木鉢案を考えていけば、「おおむね満足できる」状況と判断する。 →うまく案がかけないグループには、写真や映像で場所の雰囲気を想起させることで、設置場所に合った色や植えるものを見付けることができるようにする。	10'
5 本時の学習を振り返る。	○本時の話し合いについて感想を書くようにする。	5'